

令和3年度 矢沢地域振興会 地域づくり交付金事業 ほぼ完了を迎えています！

今年度も残すところ僅か1か月となりました。令和3年度は、コロナ禍により矢沢地域振興会はもちろん各種団体や各行政区の自治会活動、公民館活動と主な行事が押しなべて中止や内容変更しての開催となってしまい残念な一年間でした。その中でも、各分野におかれましては、安全安心な地域づくりのために奮闘されましたこと大変ご苦勞様です。

さて、矢沢地域振興会の地域づくり交付金事業は、各行政区や団体のご尽力により、当初予定されていた事業はほぼ完了となっています。改めてご協力に感謝申し上げます。

すべての事業報告は年度完了後に行いますが、主な事業を紹介いたします。

防犯対策事業（直轄事業）

防犯灯の新設・更新等 19 か所
(矢沢 3・幸田 1・高松第一 2・
高松第二 1・高松第三 8・高木
第二 3・東十二丁目 1)



市道整備事業（直轄事業）

市道の簡易舗装 2 か所
(高松第一・高木第三)



交通安全対策事業（直轄事業）

カーブミラーの新設 4 か所
(幸田 1・高木小路 2・高木第三 1)



環境整備事業（補助事業）

ごみ集積所の新設・修繕 4 か所
(高木第一 3・高木小路 1)



● ごみ集積所の修繕

文化観光事業（委託事業）

文化観光施設等案内看板設置
(高松第二)



● 札長根バス停待合室
観光文化施設案内看板

その他の事業（補助事業）

公民館施設改修・備品購入等 9 か所
(矢沢 3・幸田 1・高松第一 1・
高木第一 1・高木第三 1・高木小路
1・東十二丁目 1)



● 公民館の備品購入
(折りたたみテーブル・椅子)

● ソフト事業 コロナ禍の中粛々と実施！

コロナ禍にあって、事業の中止が続く中、コロナ対応を取ったうえで明老大学や自然探訪等の取組が行われました。ご協力ありがとうございました。

明老大学開講式（5月26日）



明老大学移動研修（10月25日）



自然探訪教室（八幡平・5月18日）



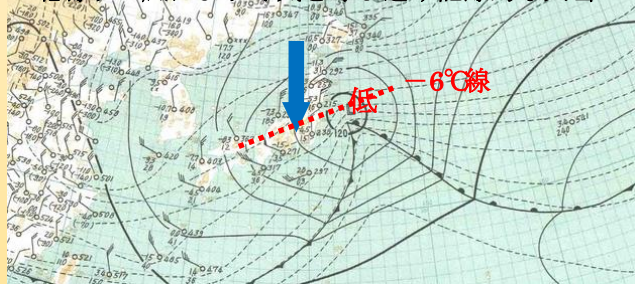
グラウンドゴルフ大会（6月19日）



【事務局員のつぶやき】（2月から3月は南岸低気圧接近による沿岸部中心の大雪の心配があります！）

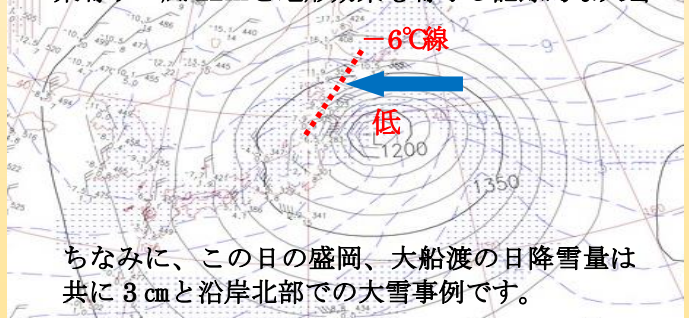
冬型の気圧配置の主役の一つシベリア高気圧が後退するこの時期になると、南岸低気圧による沿岸部の大雪により大きな災害の発生が話題となることがあります。気象予報にとって雨雪判別は重要なファクターの一つです。とりわけ東京など関東の都会では交通機関などに重大な影響を受けるため、降水現象が雨でくるか雪でくるかでは大きな違いが生じます。気象庁の情報発信の信頼にも大きな影響を与えています。この現象をもたらす主人公は南岸低気圧です。南岸低気圧自体は暖かい空気を伴って接近しますが、この時期上空には寒気が残っているため一筋縄ではいかず、地上気温1度の違いで大きく変わります。南岸低気圧は、日本の南海上を東から北東に進む低気圧を指して言い、普段は雪の降らない太平洋側にしばしば大雪をもたらす、とりわけ東京が雪か雨かで話題になることがあります。私が若いころから、南岸低気圧のコースが八丈島より北か南かで大きく変わると、つまり「低気圧のコースが東京に近ければ（八丈島より北）、低気圧の持っている暖気により雨、八丈島付近を通過すると、北から寒気を呼び込み雪、八丈島より南を通ると降水を伴った雲域が届かず曇りとなることが多い。」と事例調査結果から一般的に言われていました。この南岸低気圧は北上に伴い更に発達して三陸沿岸も大雪となり、大きな被害をもたらすことがあります。とりわけ東風の効果が大きい沿岸北部で影響が大きくなります。東京と宮古の日降雪量歴代一位の大雪をもたらした時の850hPa天気図は下図のとおりです。（雨雪判断の目安は850hPa（上空約1,500m）で約-6℃ですが、場所によっては逆転層ができてより地上に近い下層に寒気が滞留の場合、雨ではなく思わぬ大雪となることもあります。）

● 850hPa 天気図：昭和44年3月12日21時
-6℃線が本州中部まで南下（館野-5.3℃）
北寄りの風により寒気を呼び込み記録的な大雪



● 昭和44年3月12日 東京：日降雪量 33 cm
東京：日最低気温 0.2℃ 日最高気温 3.0℃

● 850hPa 天気図：平成15年3月8日09時
-6℃線が東北沿岸を南北に走行（仙台-6.5℃）
東寄りの風22mと地形効果も寄与し記録的な大雪



ちなみに、この日の盛岡、大船渡の日降雪量は共に3cmと沿岸北部での大雪事例です。

● 平成15年3月8日 宮古：日降雪量 62 cm
宮古：日最低気温 -0.7℃ 日最高気温 0.8℃